

1998チャレンジカップ

クラブ別部門

福島V2達成! 2位大阪、3位岐阜。

部門別

各部門の栄光を手にしたのは

ラリー・ドライバー部門	道北	鎌田 豊選手
ラリー・ナビゲーター部門	道北	川村知恵選手
ダートトライアル部門	大阪	秋間忠之選手
ジムカーナ部門	福島	高野 聡選手
レース部門	山形	小川日出生選手

クラブ別ポイント最終結果

順位	支部名	1~5月	6~8月	9~11月	12月	計
1	福島	810	787.5	504	166	2267.5
2	大阪	909	545	635	28	2117
3	岐阜	162	272	398	425	1257
4	道北	522	397	276	40	1235
5	広島	418	530	242	0	1190
6	山形	319	301	547	0	1167
7	群馬	25	750	132	225	1132
8	青森	253	357	205	0	815
9	帯広	256.5	301	200	0	757.5
10	浜松	295	250	190	0	735
11	栃木	213	264	242	0	719
12	香川	262	196	226	32	716
13	岩手	115	212	293	0	620
14	札幌	274	241	99	0	614
15	島根	216	145	88	0	449
16	秋田	66	185	106	0	357
17	仙台	40	126	135	0	301
18	鹿児島	182	60	56	0	298
19	埼玉	77	119	31	0	227
20	愛知	21	0	10	0	31
21	千葉	0	0	0	0	0

'98年度CMSCチャレンジカップの結果が上記の通りに確定いたしました。今年度の覇者は、福島。昨年初栄冠に輝いた勢いが連覇へ導いたようです。今年度は部門別でもジムカーナ部門で高野聡選手がチャンピオンに輝き二重の喜びと言えるのではないのでしょうか。福島の強みはやはり総合力ですが、特にダートとジムカーナでのポイント獲得が大きな要因だったように思われます。

また、福島と最後まで競り合った大阪の健闘も光ります。近年好調で、今年度は2000ポイントの舞台に乗せたのですが、今一步のところまで及びませんでした。ダートだけでなく無敵と言えるポイントなのですが...全く残念です。そして、3位には岐阜が昨年の12位から大きくジャンプアップしてきました。この勢いを維持すれば、'99年度の活躍が期待できます。

'99年度は座間、南茨城の2支部が新たに加入してまいります。チャレンジカップのライバルが増えるのは大変ですが、CMSC仲間が増えるのは大歓迎ですね。今年度も栄光めざして、頑張りましょう。

ラリー・ドライバー部門



1位 鎌田 豊選手



2位 杉山 聡選手



3位 鷹野健太郎選手

今年は1位に全日本チャンプの鎌田選手がドーンと座って道北が1~4位を独占です。5位にようやく札幌の坂田選手が顔を見せました。

1位	道北	鎌田 豊	301
2位	道北	杉山 聡	241
3位	道北	鷹野健太郎	181
4位	道北	岩見浩紀	165
5位	札幌	坂田明朗	147
6位	鹿児島	山口 修	126

ラリー・ナビゲーター部門



1位 川村 知恵選手



2位 中村洋次選手



3位 宮野重喜選手

上位の常連、川村選手が3年振りにチャンプ獲得です。2位には昨年の覇者中村選手。3位に宮野選手が飛込み今年度が楽しみです。

1位	道北	川村知恵	221
2位	帯広	中村洋次	157.5
3位	岩手	宮野重喜	108
4位	広島	梶山 剛	81
5位	香川	神高 浩	66
6位	札幌	横山 浩	65

ダートトライアル部門



1位 秋間 忠之選手



2位 小出久美子選手



3位 古澤稔久選手

秋間・小出コンビはこれで3年連続1・2フィニッシュ。どこまで記録を伸ばすのでしょうか。3位に群馬の古澤選手が入り来年が楽しみです。

1位	大阪	秋間忠之	682.5
2位	大阪	小出久美子	532.5
3位	群馬	古澤稔久	469
4位	栃木	赤羽政幸	406
5位	広島	河内 渉	395
6位	大阪	藤原雄一郎	369

ジムカーナ部門



1位 高野 聡選手



2位 工藤裕史選手



3位 宇野慶一選手

クラブ別の優勝に華を添える高野選手のチャンプ獲得。工藤選手、宇野選手は上位常連ですが、5位三崎選手が年々順位を上げています。

1位	福島	高野 聡	311
2位	青森	工藤裕史	272
3位	青森	宇野慶一	271
4位	浜松	平山敦朗	192
5位	帯広	三崎朋弘	161
6位	福島	佐藤義隆	144

レース部門



1位 小川日出生選手



2位 工藤裕史選手



3位 高橋しげる選手

御大小川選手が指定席に返り咲きです。2位はあのエド・ムラサキ選手。そして3位にパーフェクトの高橋選手と豪豪が上位を占めました。

1位	山形	小川日出生	262
2位	山形	工藤裕史	252
3位	仙台	高橋しげる	208
4位	栃木	川口法行	79
5位	栃木	添田 正	78
6位	栃木	内堀篤史	54

1998チャレンジカップ 各部門チャンピオンのコメント

クラブ別部門 CMSC福島 事務局長 須田行雄

'98年度チャレンジカップクラブ対抗部門優勝については、今まで一番うれしい優勝だと思っています。CMSC福島にはポイントを大量に稼ぐ選手はいませんが、クラブ員でイベントに出場した者がいれば0.5点でも集計して更に、地区戦には毎回10台以上、ローカル戦はそれ以上の台数が大会に出まくり、やっとなだ一位のポイントです。

ただ今年はその中で若手も着実に成長して、オールスターダートトライアルにはCMSC福島から4人が出場するなど実りも多く年長組ががんばらなくともポイントが稼げるクラブに成りつつあると思います。全員で頑張るのが福島のコモト。若手を育てながら熟成したクラブになることを目指しています。

ラリー・ドライバー部門 CMSC道北 鎌田豊

日本でのWRC開催の気運が高まるラリー界ですが、その流れをうけて'98年の全日本ラリーは100kmを越えるSSを設定したのになって来ました。こうした状況の中でシリーズチャンピオンを獲得でき、さらにはCMSCチャレンジカップでも勝つことが出来たことは大変満足しています。スポンサー各社、また関係する皆様、本当にありがとうございました。

ラリー・ナビゲーター部門 CMSC道北 川村 知恵

ラリーのナビゲーターをはじめ5年、'98シーズンは全日本ラリーを主なステージとして戦いました。日本のラリーもSSを主体としたものになりつつあり、私達もナビゲーターからコ・ドライバーへと改めてゆかなければならないと思っています。今年も頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

ダートトライアル部門 CMSC座間 秋間忠之

モータースポーツ歴18年。ミラージュで「全日本ラリーチャレンジ7年目」に「全日本ダートトライアル4年連続レディースチャンピオンの小出久美子」と結婚してからは勧めもあってダートトライアルにランサーエポリューションでチャレンジしています。昨年は、「全日本ダートトライアル8位」また、'98年度もテレビの取材をしていただき、ランサーエポリューションと一緒に出演させていただいたのも、うれしかった事のひとつです。そして今年で6年目になりますが、1月13日から、毎年20万人もの観客動員のある「ALESCO大阪モーターフェア」のイメージカーとして、私と小出久美子のランサーEVOが展示されました。私達も少しでもダートラやランサーの事を知って頂けたらと思い、マシンの側でアドバイザーとしてお手伝いさせて頂きました。今年も全日本ダートトライアル参戦は勿論、JAF公認ダートトライアル開催、そして、初心者への練習会等のモータースポーツ活動を、ランサーEVOと一緒に頑張りたいと思っています。

ジムカーナ部門 CMSC福島 高野 聡

'98年は全日本ジムカーナにA3クラスに初参加、地方選手権はDクラスにC53Aミラージュ、その他はランサー、ミラージュアスティなどで出場しました。'99年はジムカーナに出場しつつ、CC4AミラージュをCIIIバージョンにした車でダートトライアルにも、どしどし出場したいと思っています。

レース部門 CMSC山形 小川日出生

1年間のご支援ありがとうございました。全国を転戦し各地のCMSCの皆さんにもいろいろお世話になりました。紙面をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。1年を通して、苦しい戦いが多いなか、国内最長レースである、十勝24時間レースで7秒差の逆転優勝がとても印象的でした。モータースポーツ歴30年の中でも最高の喜びでした。あの感動を忘れずに、今年も挑戦し続けてゆきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。スーパー耐久のクラス2にエントリーを予定しておりますので、全国の皆さん、近くに行った際には声をかけてください。モータースポーツを一緒に楽しみましょう。

各部門7位以下の成績

ラリードライバー部門

7	中尾 晃	鹿児島	121
8	二野下幸夫	広島	111
9	白井 修	香川	110
10	吉田俊彦	岩手	108
11	山口幸宏	埼玉	96
12	青沼達也	帯広	60.5
13	小野隆徳	香川	60
14	三苫和義	鹿児島	51
15	近藤隆隆	秋田	50
16	後藤英隆	福島	43
17	豊嶋郁雄	道北	41
18	樋口 宏	大阪	40
19	大屋和宏	岐阜	39
20	菅野正之	浜松	36
21	赤間 勝	仙台	32
22	細村謙一	群馬	30
23	若山利廣	大阪	28.5
24	郷 義徳	岐阜	22
25	辻 澄晴	岐阜	20
26	梶山 剛	岐阜	20
27	牧野 礎	広島	20
28	小林康弘	帯広	18
29	丹藤浩史	秋田	18
30	佐藤祐一	青森	16
31	松井孝夫	愛知	16
32	中島 律	広島	14
33	森 新次	香川	12
34	渡辺俊昭	山形	12
35	対馬寛幸	道北	12
36	福本光志	帯広	8
37	大内 健	仙台	4
38	小枝浩史	青森	4
39	浅野博孝	岐阜	4
40	菅野吉夫	福島	3
41	原 裕二	岐阜	2
42	谷津良嗣	福島	2
43	安斉隆人	福島	1
44	佐藤一彦	埼玉	0.5

ダートトライアル部門

15	本田 弘	岐阜	28
16	柳館義和	秋田	26
17	福島未佳	大阪	20.5
18	本島正和	浜松	20
19	佐藤祐一	秋田	20
20	山崎茂樹	青森	18
21	本田辰彦	岐阜	14
22	野村左江子	広島	14
23	谷津良嗣	福島	12.5
24	岩見浩紀	道北	12
25	佐々木政英	帯広	8
26	野津康弘	福島	6.5
27	郷 義徳	岐阜	5
28	早瀬要治	岐阜	4
29	鶴ヶ谷慶市	青森	4
30	横川紀仁	仙台	4
31	国分 予	福島	3
32	大泉 剛	福島	2
33	杉川智和	福島	1
34	金子孝行	埼玉	0.5

80	福本光志	帯広	2
81	佐藤義隆	福島	2
82	星 光行	仙台	2
83	熊谷博由	福島	2
84	高橋朝幸	大阪	1
85	横川紀仁	仙台	1
86	宮野重喜	岩手	1
87	橋本多素	栃木	1
88	菅野信子	福島	1
89	川村 元	岩手	1
90	森 吉春	埼玉	15
91	安部幸延	島根	15
92	神田昌明	島根	15
93	高谷英晶	青森	15
94	中村洋次	帯広	14.5
95	福本光志	帯広	12
96	飯田和夫	青森	11
97	宮武貴司	愛知	8
98	高尾 修	埼玉	8
99	古藤浩美	島根	5
100	平田祐二	島根	5
101	長岡 晃	島根	3
102	杉坂啓一	島根	3
103	蓮池量之	浜松	2
104	植田智則	島根	1
105	山口正道	岩手	1
106	青木順一	栃木	1

ジムカーナ部門

7	小館 久	青森	140
8	渡辺 弘	福島	120
9	青沼達也	帯広	105
10	下谷光俊	栃木	98
11	長内 豊	帯広	91
12	川口直樹	福島	84
13	須田行雄	福島	77
14	佐藤宏昭	福島	50
15	遠藤昌利	札幌	40
16	桜庭雅人	青森	34
17	舟木 徹	島根	26
18	大坪睦己	島根	21
19	久保田明	青森	20

レース部門

7	丸山 晃	浜松	22
8	木下アキオ	山形	13
9	桜井 斉	栃木	2
10	藤井 優	浜松	1

CMSC岐阜 '99年度CMSC岐阜総会報告

'99年度CMSC岐阜総会を本部の外川会長を迎えて、2月20～21日に岐阜市内にて行いました。20日(土)の夜は懇親会に当り、CMSC岐阜恒例のピンゴゲームで盛り上がり、翌日は朝から総会というスケジュール。総会では外川会長の挨拶から始まり、'98年度の活動報告や会計報告、役員改選そして'99年度の活動計画が話し合われました。'98年度の活動報告ではチャレンジカップでの3位入賞が報告でき、クラブ始まって以来の快挙を皆で喜びました。今年も上位入賞を目指して頑張ろう、という意味統一ができた総会でした。



(浅野 博孝)